

所蔵作品眞贋事案について

徳島県立近代美術館

このたび、当館がジャン・メッツァンジェ作〈自転車乗り〉としていた所蔵作品は、贋作であると判断しました。これまで本作を鑑賞いただいた皆さま、関係者の皆さまなど、多くの方々にご心配やご迷惑をおかけすることになり、お詫び申し上げます。ここに概要をご説明するとともに、実物を見ていただくことといたします。

本件における「贋作」とは

この絵は、本物を写したレプリカ（模造）ではなく、贋作者ベルトラッキが空想で描いた作品です。画家メッツァンジェの同時期の作品をまねて、本物らしい絵に仕上げたものです。

絵の特徴は

形を分解して再構成するキュビズムの方法で、自転車レースの臨場感を描いています。画面に紙のコラージュや砂をまぜる実験的な方法も取り入れ、色あざやかで活気のある表現です。

なぜ購入したか

当館は人間像をテーマに作品を収集してきました。ピカソを軸とする西洋美術コレクションの充実を図るため、キュビズムの美術動向において活躍したメッツァンジェの作品を収集し、大切に展示活用してきました。

購入の手順について

本作には、メッツァンジェの「作品総目録（カタログ・レゾネ）」を編集していた専門家ニキエルによる鑑定書があり、同時期のメッツァンジェの作例との比較においても疑わしい点はありませんでした。価格面でも類似取引例と比べ妥当であり、適正な受入手順を経ています。

発覚までの経緯

- 1999年1月 当館が大阪の画廊から6,720万円で絵を購入。
- 2010－11年 ドイツ警察の捜査により、ベルトラッキの他の贋作について有罪判決。
- 2024年6月 本作が贋作として掲載された記事（2014年）について知り、調査開始。
- 2025年3月 情報収集の結果、本作を贋作と判断。

今後について

科学調査については、成分分析等の調査を行い、将来の研究に役立つ資料とします。法的な手続きについては、弁護士と相談しながら購入先との交渉を進めます。

公開期間 2025年5月11日～6月15日